ニュースレター
熊本乃地名

発行者　熊本地名研究会
会長　木﨑康弘

題字　松野国策 書

人吉球磨を訪ねるツアー
10月25日 実施　参加者を募集中

熊本地名研究会では恒例の現地探訪バスツアーを10月25日（日）に実施する。今年は人吉・球磨の歴史や文化に焦点を当て、さまざまな講座を開いてきたが、今回のバスツアーは、各講座での話を基に、実際に現地を訪問し人々の生活や史跡に触れ、見識を深める旅にする。球磨地方を訪れるのは、日本遺産「相良700年が生んだ保守と進取の文化」に登録されたのを機会に行った平成29年のツアー以来、9年ぶりとなる。

最初の訪問先は、山江村歴史民俗資料館。同村の生活史に刻まれた道具類や歴史遺物、さらには一向宗禁制に関する資料などを見学する。次いで、人吉城へ。9月例会で話を聞く謎の地下遺構に関する見学も予定している。錦町の食堂で昼食をとった後、あさぎり町の本目遺跡を訪ねる。ここは考古学上重要な免田式土器が出土した場所。実際の出土物は同町の「せきれい館」に展示してあり、ここへも足を運ぶ。最後に、五木村へと足を伸ばす。7月例会で話を聞いた焼畑の現場へは時間の都合でいけないが、歴史文化交流館「ヒストリアテラス五木谷」を訪ね、焼畑関係の展示などを見学する。また近くのかやぶき民家で五木の子守唄を聞く機会も設ける。会員の皆様、奮ってご参加ください。



本目遺跡のモニュメント
（あさぎり町ホームページより）

＊地名研ブログでも活動や関連ニュースを発信中

地名研究会　告知板

10月 行事日程

✥現地探訪バスツアー「人吉球磨を訪ねて」
10月25日（日）午前8時30分出発
熊本市民会館前 集合
※出発10分前にはお集まりください

✥勉強会
テキスト「地名の研究」（柳田國男著）
10月10日（土）午前9時30分～
パレア会議室5

【予定コース】熊本市民会館前（8時20分集合）8時30分出発→宇城市道の駅「宇城彩館」に立ち寄り→（高速道経由）山江村歴史民俗資料館→人吉城→昼食（国道219号沿い「ふじ」）→本目遺跡（あさぎり町）→「せきれい館」（同町）→ヒストリアテラス五木谷ほか（五木村）→県道25号経由で宇城市へ、道の駅「宇城彩館」→熊本市民会館前到着18時頃

【参加費】1人6000円（保険代込、当日徴収）※昼食代・施設入館料は含まず

【募集定員】20名　※会員外も参加可

【申込締め切り】10月16日（予定人員に達し次第締め切ります）

【申込方法等】申し込みの際は、「人吉球磨探訪希望」と書き、①参加者氏名、②連絡先電話番号のほか、③「宇城彩館」からの乗車を希望の方はその旨を明記してください。メールまたはハガキで受付

特に返信は致しません。当日は集合場所に遅れないようお集まりください。

龍田公民館で地名講座
来年度、11回の開催予定

熊本地名研究会では、熊本市北区の龍田公民館の生涯学習自主講座グループから、令和9年度に1年間にわたって地名に関する講座を開いてほしいとの依頼があり、これに応えることで準備を進めている。

講座は4月から月1回のペースで計11回を予定。地名研からは木﨑会長はじめ4人が分担して行う。具体的な日程や講座の内容はこれから詰めていくことにしているが、現在のところ「地名概説」「町村合併史」「四街道と往還」「井手（用水路）の歴史」「熊本の地形地名」「古代の地名」「古代官道」などが候補として上がっている。

寄贈誌

❖「歴史と神戸」（第65巻第3号、神戸史学会）　このほど開館した神戸市歴史公文書館の基本理念と所蔵資料などを紹介。論考は「福原遷都、平氏系新王朝説への反論」など。